

平成28年に石油コンビナート等災害防止法の特定事業所で発生した事故一覧表(1-3月)

	事故名	異常現象の種類	発生年月日	県名	人的被害	事故概要
1	製油所における廃ソーダタンク付属配管からの火災	出火	2016/1/6	大阪府	なし	空の廃ソーダタンク撤去工事の際、タンクからの立ち上がり配管を切断中に配管内の残留物が燃焼した。火は消火器により直ちに消火された。
2	製油所における流動点硬化剤の漏えい	漏えい	2016/1/7	岡山県	なし	軽油タンクに流動点降下剤を注入作業中に、流動点硬化剤が漏えいした。漏えい量は246リットル。漏えい箇所の前後のバルブを閉め、漏えいは止まった。場外への流出はない。
3	加熱炉における点火作業中の爆発	爆発	2016/1/8	愛知県	なし	加熱炉の点火作業を実施中に炉内に都市ガスが漏えいし、点火時に爆発した。
4	ローリーからタンクへの充てん中における苛性ソーダの漏えい	漏えい	2016/1/13	神奈川県	なし	ローリーからタンクへ25%水酸化ナトリウム水溶液(苛性ソーダ:劇物)を充てんしていたところ、タンク直近の配管にあるドレンから、当該水溶液が約3キロリットル漏えいした。事業所により乾燥砂で吸収し、回収した。
5	発電所におけるタンクミキサーからのC重油の漏えい	漏えい	2016/1/19	新潟県	なし	C重油タンク(貯蔵量27,600キロリットル)タンクミキサーのメカニカルシール部からC重油が漏えいした。すみやかに漏えい防止措置がとられ、漏えいは防油堤内で収まり、外部への漏洩はなかった。
6	製鉄所におけるフランジからの転炉ガスの漏えい	漏えい	2016/1/19	兵庫県	重傷1名 軽傷1名	屋外で配管の作業中、フランジ部分からガス(転炉ガス:LDG)が噴出した。
7	バイオマス供給設備のベルトコンベアからの出火	出火	2016/1/20	愛媛県	なし	バイオマス供給設備のベルトコンベア(木片チップ用)から出火した。
8	製油所における重油の漏えい	漏えい	2016/1/22	神奈川県	なし	屋外タンク貯蔵所のトレンチ内に重油が漏えいした。
9	製鉄所におけるポリ容器への引火	出火	2016/1/22	千葉県	なし	スチール研究部にアルコール容器(ポリ容器)の蓋を開けたところ、近くのガス溶断の火花がポリ容器に引火し、容器の蓋が焼損した。事業所職員が防災シートを被せ消火した。
10	シクロヘキサノール製造施設からの漏えい	漏えい	2016/1/24	岡山県	なし	シクロヘキサノール製造施設の付属配管から危険物のシクロヘキセン混合物が約40リットル漏えいした。場外への流出はない。
11	フランジガスケットの破損によるメタノールの流出	破損	2016/1/25	広島県	なし	配管内の水分が凍結しフランジガスケットが破損し内容物のメタノールが流出した。流出量は約436kg。
12	ボイラーへの埋設配管からの重油の漏えい	漏えい	2016/1/26	岡山県	なし	重油タンク(容量1,800リットル)が空になっていた。ボイラーへの埋設配管から漏えいした模様。海上への流出はない。漏えい量は約1,600リットル。
13	製油所における原油の漏えい	漏えい	2016/1/27	宮城県	なし	屋外タンクのバルブ整備作業のため、付帯配管から仮設のダイヤフラムポンプを用いて原油の抜き取り作業を実施していたところ、当該ポンプから原油が防油堤内に漏えいしているのを作業員が発見した。直ちに抜き取り作業を中断し、消防へ通報した。漏洩した原油(約20リットル)は回収済み。
14	廃棄物置場での火災	出火	2016/1/29	山口県	なし	前日にラウロクタムのみこんだ保温材を取り外し、廃棄物置場に集積していたところ、保温材が燃えているのを発見した。直ちに従業員が消火器を使用して消火。
15	グラインダーによる作業中の火災	出火	2016/2/1	三重県	なし	施設の床をグラインダーにて切断中に炎が上がった。従業員により消火器で直ちに消火を行ったため、消防への通報の段階では既に鎮火していた。
16	建屋内の変流器からの火災	出火	2016/2/1	神奈川県	なし	建屋内の変流器が、何らかの原因により出火した。従業員により消火済み。
17	液化塩素製造施設のコンプレッサーからの出火	出火	2016/2/2	千葉県	なし	液化塩素製造施設の電解プラントに設置している水素コンプレッサーの大気放出口に、何らかの原因で着火し出火した。
18	製油所における重油配管の検査時の火災	出火	2016/2/3	茨城県	なし	重油脱硫装置内のC重油(360℃)配管(4B)を非破壊検査(放射線透過)のため、断熱目的で配管にカーボクロス巻き付けた部分(約500mm幅)が火災となり、消火器で初期消火した。

平成28年に石油コンビナート等災害防止法の特定事業所で発生した事故一覧表(1-3月)

	事故名	異常現象の種類	発生日年月日	県名	人的被害	事故概要
19	製油所におけるA重油の漏えい	漏えい	2016/2/5	大阪府	なし	油運搬船荷役作業中にオーバーフローが発生し、海上へA重油が漏えいした。直ちに荷役を中止し、漏えいを停止させた。オイルフェンスを展開し、拡散防止措置を実施。
20	ボイラー立ち上げ操作中における配管での爆発	爆発	2016/2/6	山口県	なし	シュウ酸工場のボイラー立ち上げ操作中に、何らかの異常が発生し、配管途中で爆発した。当時、ボイラーのスタートアップ中で、プロパンガスを燃焼させていたところに、一酸化炭素を供給しようとした際に発生(運転時には廃液を燃焼させる)。ボイラーは停止させ、一酸化炭素はフレアスタックで処理。
21	配管からのステンレモノマーの漏えい	漏えい	2016/2/7	兵庫県	なし	ステンレモノマータンク(53m <sup>3</sup> )配管にピンホールが生じ、ステンレモノマーが約100リットル防液堤内に漏えいした。漏えい箇所直近のバルブを閉止し、漏えいは停止した。
22	製鉄所における溶断中の作業着への着火	出火	2016/2/8	愛知県	軽傷1名	溶断作業中、左下肢に火花が飛び、作業着が焼け負傷した。
23	製鉄所におけるメンテナンス工事中の火災	出火	2016/2/12	大分県	死者1名	真空脱圧設備(溶解した鉄から気泡を除去設備)のメンテナンス工事で、上下ある蓋を取り外す際、ボルトが固着していたためガス切断を行っていたが、蓋が外れる際に中に残っていた溶鉢が飛び散り、これを浴びた作業員1名が火傷した。
24	製鉄所における溶接作業中の火災	出火	2016/2/14	千葉県	なし	冷延部冷延工場表面処理工場内でコイル状の鉄板の端を次のロールに溶接していた際、溶接の火花により、溶接機付近に存置していたゴムテープに着火した。直ちに作業員が消火器1本を用いて消火した。
25	発電所における潤滑油の漏えい	漏えい	2016/2/16	兵庫県	なし	蒸気弁を閉開するための油圧装置についている圧力計のブルドン管が破損し、油圧装置内の潤滑油が約100リットル漏出し、装置周囲の漏えい防止用の囲い内に溜まった。漏えいした潤滑油はペール缶に回収済み。
26	製鉄所におけるスイングアームから滴下したグリスによる火災	出火	2016/2/16	千葉県	なし	製鋼工場連続鍛造工場内の重機(タンディッシュターレット)のスイングアームから滴下したグリスが、何らかの火源により着火し、周辺の配線(1m×2本)を溶融させた。
27	製油所における投光器等のケーブルからの火災	出火	2016/2/17	神奈川県	なし	発電用ボイラー点検のために使用していた投光器等のケーブル(1階から8階まで設置)が、何らかの原因により6階部分から出火し延焼した。
28	発電所における弁の誤操作による潤滑油の漏えい	漏えい	2016/2/19	福島県	なし	定期点検終了後の系統分断復旧操作時に、弁の誤操作(常時閉→微開)により潤滑油が漏えいした。
29	発電所における配管から軽油が漏えいしたことによる火災	出火	2016/2/22	福島県	なし	ボイラー配管のフランジ部分から軽油が漏えいし、何らかの原因により発火した。消防隊現場到着時には火災は鎮火。
30	屋外タンク貯蔵所におけるメキシプロパノールの漏えい	漏えい	2016/2/22	広島県	なし	供給管理センター内の屋外タンク貯蔵所でメキシプロパノールが10リットル程度漏えいした。漏えいは防液堤内で停止。
31	製油所における原油の漏えい	漏えい	2016/2/22	大分県	なし	原油タンクの基礎部より原油がにじみ出していた。海上への流出はなし。
32	製鉄所におけるスラグ処理による火災	出火	2016/2/24	兵庫県	なし	スラグ処理中、水をかけたところ水蒸気爆発を起こし、その飛散物により敷地内のブルドーザーが焼損した。スラグ処理はグラウンドのようなところで行っていたため施設への被害はなかった。
33	電力ケーブル製造施設における火災	出火	2016/2/25	千葉県	なし	電力ケーブル製造施設内ケーブル製造ラインの設備から出火した。消火器1本を使用し消火済み。
34	製鉄所における熱間圧延工場内のプレス設備における火災	出火	2016/2/25	千葉県	なし	熱間圧延工場内のプレス設備において、熱間圧延作業(熱せられた板状の鋼板を叩いて板幅を調整する作業)中に生じたスケール(火花)が跳ね、設備下部に滞留した塵グリスに落下し着火した。
35	製鉄所におけるステンレス工場内の連続焼鈍炉における火災	出火	2016/2/25	千葉県	なし	ステンレス工場の焼鈍・酸洗ライン連続焼鈍炉のショットブラスト集塵機のスクリーコンベア及び鉄粉が焼損した。
36	移送配管のカップリング部分からの潤滑油の漏えい	漏えい	2016/3/1	神奈川県	なし	屋外タンク貯蔵所から一般取扱所(潤滑油調合充填設備)内にあるタンクに潤滑油をポンプで移送していたところ、移送配管途中のカップリング部分から約6リットル流出した。

平成28年に石油コンビナート等災害防止法の特定事業所で発生した事故一覧表(1-3月)

	事故名	異常現象の種類	発生日年月日	県名	人的被害	事故概要
37	製油所における発電施設の火災	出火	2016/3/1	山口県	なし	排熱ボイラの水圧テストのため、給水ポンプにより水張りをしていたところ、ポンプ軸受付近から出火したものの、直ちに消火器により消火し、ポンプを停止した。
38	機器の解体作業中における火災	出火	2016/3/2	三重県	なし	界面活性剤の原料(ステレン、フェノール)を製造する施設において、機器の解体作業中に溶断火花が側溝にあった廃液に着火したもの。従業員が消火器2本を使用し消火した。
39	発電所におけるドレン配管からの原油の漏えい	漏えい	2016/3/5	三重県	なし	ドレン配管から原油が漏えいしたもの。配管内の原油を抜き取り、バンド巻きにて漏えいしていないことを確認。
40	ポンプヤードのフランジ部からの重油の漏えい	漏えい	2016/3/5	山口県	なし	3月5日、ポンプヤードのポンプ周囲のフランジ部から重油が漏えいしたもの。バルブを閉止するとともに、漏えいした重油の回収処理を実施(漏えい量は50~60リットルと推定)。3月6日、降雨により当該漏えい箇所に着していたA重油が排水溝を通じ海上に流出(5~6リットルと推定)。油処理剤の散布等により流出は停止。
41	配管からの酢酸ブチルの漏えい	漏えい	2016/3/5	広島県	なし	2階から3階へ立ち上がる配管より酢酸ブチル約100リットルが漏えいしたもの。
42	製油所における配管からのスロップ油の漏えい	漏えい	2016/3/6	大阪府	なし	原油栈橋上の休止中のスロップ配管からスロップ油が約20リットル漏えいし、うち約10リットルが海上に流出したもの。
43	製油所における配管からの油(油種不明)の漏えい	漏えい	2016/3/7	神奈川県	なし	大量の降雨により、オイルセパレーターで回収する油が同施設の再清浄池に流れ込み、海上に長さ300m、幅5mにわたり流出した(流出量は約0.43リットル)。事業所のオイルフェンス展張済、オイルフェンス外に危険物の拡散なし。
44	製油所における配管からのガソリンの漏えい	漏えい	2016/3/11	大分県	なし	パラキシレン製造装置付近の地上配管のピンホールからガソリンが漏えいしたもの(海上漏えいなし)。パラキシレン関係設備を停止して配管内のガソリンを抜き、漏えいは停止している。
45	配管接合部からの苛性ソーダの漏えい	漏えい	2016/3/11	岡山県	軽傷1名	苛性ソーダを塩製造設備へ送る配管の接合部が外れ、苛性ソーダ約125リットルが漏えいしたもの。場外への流出はない。
46	圧縮機へ潤滑油を送る給油機からの漏えい	漏えい	2016/3/14	千葉県	なし	エチレン圧縮機に係る潤滑油の給油機から潤滑油(指定可燃物)が15リットル漏洩したもの。周囲をブロックしており海上流出はない。漏洩した潤滑油は回収済み。
47	軽油タンク付近の配管からの軽油の漏えい	漏えい	2016/3/14	北海道	なし	軽油タンク付近の配管から軽油が漏えいしたもの。漏えい量は7リットル程度。海上への流出はない。
48	製油所における重質軽油ライン保温材付近からの火災	出火	2016/3/18	山口県	なし	装置の定期補修工事が終わり、17日からスタートアップ作業を開始した蒸留塔の重質軽油の抜き取りラインの保温材付近から出火しているのを作業員が発見したもの。直ちに重質軽油ラインのバルブを閉止するとともに、消火栓によって消火した。
49	製鉄所における台車の秤量変換器ボックスの焼損	出火	2016/3/18	千葉県	なし	製鋼工場の溶銑払出場で、溶鋼の入った取鍋(溶銑を運搬するための容器)に溶銑を足したところ、取鍋からスラグがあふれ、台車の秤量変換器ボックスが焼損したもの。
50	製油所におけるコーキング装置の重質軽油ラインでの火災	出火	2016/3/21	山口県	なし	定期修理を終えて立ち上げ作業中のコーキング装置で、重質軽油ラインの調整弁付近から炎が出ているのを作業員が発見したもの。直ちに消火するとともに、バルブを閉止した。焼損したのは、調整弁に巻かれた吸着マット。調整弁が閉塞気味であったため、調整弁にマットを巻き、スチームを掛けていた。上下流の弁を閉止し、縁切り、脱圧措置を実施済み。
51	製鉄所における使用済みコークス搬送用コンペアでの火災	出火	2016/3/22	千葉県	なし	コークス湿式消火設備の使用済コークス搬送用コンペア(ゴム製)が延焼し、約3mが焼損したもの。
52	ポリエチレン製造施設の安全装置作動によるポリエチレン樹脂の飛散	漏えい	2016/3/22	千葉県	なし	ポリエチレン製造施設の安全装置が作動し、粉状のポリエチレン樹脂が飛散した。その際、ベントスタック内に固着していた樹脂の塊も飛散し、隣接事業所にある倉庫のスレート屋根の一部が破損した。

平成28年に石油コンビナート等災害防止法の特定事業所で発生した事故一覧表(1-3月)

	事故名	異常現象の種類	発生年月日	県名	人的被害	事故概要
53	製油所内の空地での火災	出火	2016/3/23	千葉県	なし	事業所内の空地において、雑草約100平方メートルが焼損したものを。
54	製鉄所における台車の油圧ホースからの火災	出火	2016/3/24	千葉県	なし	高炉で使用されている台車(2m×4m)の油圧ホース付近で、ホースからにじみ出た油から火災が発生したものを。作業員が消火器4本で消火した。
55	発電所における制御油の漏えい	漏えい	2016/3/29	神奈川県	なし	新設後、ガスタービンの試運転のため、タンクに貯蔵された制御油をポンプで循環させていた際、中央操作室で警報を感知したため、当該タンクへ向かったところ、タンクレベル計の表示が下がっており、圧力が下がった際に起動する予備ポンプの方が動いていた。何かの異常があるものと認識し、ガスタービンが囲われている2階フロアーのガスタービンパッケージの部屋のドアを開けた際、制御油が噴出(約600L)して、周囲(エンクロージャー内)に噴霧状に飛び散っていたのを発見したものを。ポンプを停止させ、オイルキャッチャーにより制御油を回収。
56	ドラム缶からの防錆剤の漏えい	漏えい	2016/3/31	神奈川県	なし	ドラム缶に穴が空き、防錆剤134kgが流出したものを。海上への流出はなし。